

佐川、介護旅行サービスを拡充 四国の旅行会社と提携

2011.9.29 15:32

SGホールディングス傘下の旅行会社、佐川アドバンスは29日、穴吹トラベル(高松市)と業務提携し、高齢者向けの介護旅行支援サービスを拡充すると発表した。

両社は昨年10月から同サービスをそれぞれ始めており、今回の提携で東京と四国地区を往復する高齢者の宿泊旅行が可能となる。佐川は来月から東京地区を中心としてきた取り扱い地域を大阪地区に広げ、来年度以降も福岡、名古屋地区へと拡大する。また、グループの佐川急便と連携し、旅行バッグをあらかじめ宿泊先のホテルに送るサービスも提供する予定だ。

介護保険の給付者は約411万人(2010年9月時点)で、食事の宅配や健康支援、移送支援などの高齢者の医療・介護周辺サービスのニーズは高まっている。日常生活の移動や宿泊旅行を含めた介護旅行全体の市場は約3740億円との試算もある。

ただ、介護旅行サービスを行っている旅行会社は全国で10社程度で、サービス内容が利用者に浸透していないのが現状だ。直近1年間の両社の実績も、佐川が約50件、穴川は1件で、両社では共同キャンペーン実施などで新規顧客の獲得を目指す。

佐川は「故郷の墓参りや家族に気兼ねのない旅行など、高齢者が安心して旅行や外出を楽しめるようにしたい」としている。

11.9.29・msn産経ニュース(web)